

No.	010	—	1002	事務事業名	各種健康診査事業			細事務事業名	がん検診、健康診査等事業、集団健診受託等事務事業			公的関与	4
PLAN	課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	16年度～年度		期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(3)成人保健の推進		
	事業の対象	20歳以上の東温市民					根拠法令	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律					
	事業の目的	最終的	疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、生活習慣病の発症や重症化を予防します。また、生涯にわたり健康づくりに取り組むことができるよう支援します。				今年度	受診者の多様なニーズに対応するためのドック検診や、受診環境の向上させるための完全予約制を取り入れることにより、受診者の満足度の向上及び受診率向上を目指します。					
	活動内容	①	健康診査事業:30歳代健診、生活保護受給者健診、後期高齢者健診(受託)、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診。				④	ドック検診事業:いのとんどック、いのとんミニドック。					
		②	がん検診等事業:肺(CR、CT、喀痰)・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査。				⑤						
		③	新たなステージに入ったがん検診総合支援事業(無料クーポン事業):子宮頸・乳がん検診。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	最終目標		
		健康診査受診者数(30歳代、特定、生保、後期、被扶養者健診)		受診者数			人	目標	3,500	3,500	3,500	5,000	
がん検診受診者率		受診者数/対象者数			%	目標	肺30、胃25、大腸40、子宮40、乳40	肺30、胃25、大腸40、子宮40、乳40	肺30、胃25、大腸40、子宮40、乳40	50			
がん検診の精密検査受診率		精密検査受診者数/要精密検査者数			%	目標	100	100	100	100			
						実績	肺94、胃94、大腸95、子宮100、乳100	肺95、胃91、大腸82、子宮100、乳98					
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費			平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考						
		国・県支出金		2,025千円	975千円	961千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		20,223千円	18,914千円	24,567千円							
		一般財源		42,943千円	37,507千円	52,594千円							
	計(A)		65,191千円	57,396千円	78,122千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.407人	8,391千円	1.400人	8,417千円	3.310人	20,294千円				
		臨時職員工数・経費		0.416人	802千円	0.400人	790千円	0.000人	0千円				
	全体事業費(A+B)		74,384千円		66,602千円		98,416千円						
一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	各種健康診査を実施し、疾病の早期発見及び重症化予防を行うことは、健康寿命の延伸だけでなく、増え続ける社会保障費の抑制のためにも必要です。												
有効性	健康増進法・高齢者医療確保法に基づき、対象年齢の方に各種健康診査を実施しています。												
達成度	各種健康診査の受診率は、県内では高い水準にありますが、国の求める水準には至っておらず、さらなる受診率向上の取組が求められます。												
効率性	自治組織やボランティアの協力を得て、コスト削減に取り組んでいます。効率的な実施方法を模索する必要もある一方、全住民を対象としており、個別のニーズにも配慮する必要があります。												
当面の課題	各種健康診査および精密検査の受診率向上が求められます。												
改革計画	受診環境の整備や、受診者の満足度の向上に努めます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	各種健(検)診の受診率は、県下では高い率を維持していますが、前年対比ではほぼ横ばい状況が続いており、目標には到達していません。一方、精密検査受診率は高水準で推移しており、受診勧奨の取組の成果が見受けられます。託児制度の導入など、周辺市町の状況も参考にしながら年々健(検)診体制の改善に取り組んでおり、市民が受診しやすい環境が少しずつ整備されていると感じています。引き続き、こうした努力を続ける必要があります。												

No.	010	—	1005	事務事業名	精神保健福祉事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	成人保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	2年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(4)精神保健の推進				
	事業の対象	精神障がいを持つ当事者、家族、精神保健ボランティア、市民				根拠法令	健康増進法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律						
	事業の目的	最終的	健康増進計画に基づき、精神障がい者の社会活動へ参加促進と、住民のこころの健康づくり及び精神保健福祉に関する正しい知識の普及、啓発を図ります。			今年度	事業内容の周知及び関係機関等と連携を密にすることにより、相談件数の増加を目指します。						
	活動内容	①	精神障がいを持つ当事者や心に不安や悩みを抱える人の健康づくりのために、電話・面接による相談や家庭訪問による相談等を実施します。			④	地域自立支援協議会に参画し、関係機関と連携を深め、精神保健福祉の向上のため、協議していきます。						
		②	交流、意見交換等を通して、仲間づくりや社会活動への参加を促すため、デイケアを実施します。			⑤							
		③	精神障がいを持つ家族、精神保健ボランティアグループに対する講演、座談会、活動支援等を通して、精神障がい者の社会活動への参加促進及び地域住民への正しい知識の普及を図ります。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		相談件数	相談（面談、電話）及び訪問の延べ件数		件	目標	180	180	180	200			
			実績	82	114								
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	5 千円		8 千円		10 千円						
		一般財源	130 千円		125 千円		160 千円						
	計(A)	135 千円		133 千円		170 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.955 人	5,696 千円	1.330 人	7,996 千円	1.300 人	7,970 千円					
		臨時職員工数・経費	0.030 人	58 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,888 千円		8,129 千円		8,140 千円						
一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	核家族化、高齢化社会、管理社会、競争社会などにより、精神的ストレスを抱えている人は増えています。また、従来の家族、地域の結びつきは弱まっており、公的な支援体制を維持する必要があります。												
有効性	健康づくりの推進に精神保健の推進は必要であり、実施していく必要があります。関係部署や関係機関と連携を図りながら、事業内容、方法等を検討していきます。												
達成度	福祉サービスの充実に伴い、相談支援事業所等につながっている人が増えており、相談件数は横ばいですが、困難事例や緊急対応が増えています。												
効率性	課題の性質上、単年度での効果は見えにくいですが、低コストで実施されています。しかし、困難事例や緊急対応の増加により、実施手段等は、長期的に見直していく必要があると考えます。												
当面の課題	精神保健の推進の重要性は増しており、解決すべき問題も複雑多岐になってきています。												
改訂計画	現状の把握、対応方法を自立支援協議会等を利用し、検討していきます。関係部署や関係機関と連携を図り、問題の解決にあたります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	当事者等に対する個別相談事業やゲートキーパーの養成講座等を通じて、悩み解消や理解度、知識の普及啓発に努力しています。年々処遇困難事例が増加しており、当事者への支援のみではなく、家族や近隣者との対処を求められるなど、複雑多様な対応が必要となる傾向にあります。このため、所轄の保健所や警察、医療機関、支援相談事業所等とのより一層の連携支援体制づくりが望まれます。												

No.	010	—	1009	事務事業名	健康教育等事業	細事務事業名		公的関与	4				
P L A N	課名	健康推進課	係名	成人保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(3)成人保健の推進				
	事業の対象	東温市に住民登録のある40歳以上の方				根拠法令	健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律						
	事業の目的	最終的	東温市健康増進事業に基づき、健康の保持・増進と脳卒中や心筋梗塞など生活習慣病予防を中心とした疾病の発症と重症化の予防を目指します。			今年度	健康教室及び健康相談等を通じて、市民一人ひとりが健康づくりのための正しい知識と技術を身につけることにより生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症及び重症化の予防を目指します。						
	活動内容	①	運動指導事業、糖尿病予防教室、健康講座など健康教室を開催し、健康づくりに関する正しい知識の普及と実践できる技術の習得を支援します。			④	健康診査の結果から、受診や精密検査が必要と判断された方の自宅を訪問し、本人及び家族に対して、受診や精密検査の実施につながるよう支援します。						
		②	個別面談や電話による健康相談を実施し、健康診査の結果に基づき一人ひとりの健康課題から生活習慣を改善することにより、健康を保持できるよう支援します。			⑤	健康づくりに関する自主組織活動及びボランティア活動を推進し、自主的な健康づくりを支援します。						
		③	地域に出向く出前講座により、地区住民からの要望に応じた健康教室、健康相談を実施し、気軽に参加できる健康づくりの実践に向けて支援します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		健康教室・健康相談の参加人数		健康教室・健康相談の参加延べ人数		人	目標 7,000	7,000	7,000	7,000			
訪問による保健指導の実施人数		訪問指導の延べ人数		人	目標 600	600	600	600					
					実績 6,868	6,774							
D O O	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	716 千円	414 千円	414 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	5,618 千円	6,129 千円	6,456 千円								
		一般財源	5,013 千円	5,044 千円	4,542 千円								
	計(A)	11,347 千円	11,587 千円	11,412 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.104 人	12,548 千円	2.100 人	12,625 千円	1.649 人	10,110 千円					
		臨時職員工数・経費	2.800 人	5,396 千円	2.800 人	5,527 千円	2.667 人	5,294 千円					
	全体事業費(A+B)		29,291 千円	29,739 千円	26,816 千円								
一次評価者	成人保健係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	事業を実施していくなかで、市民のニーズを把握し、健康づくりの正しい知識について情報提供を行っており、健康意識の向上につながるものと考えます。												
有効性	事業を継続していくことにより、市民一人ひとりの健康づくりに対する意識の向上につながり、今後も継続した取組が不可欠であると考えます。												
達成度	健康教室や健康相談等の参加者数や訪問による保健指導などの実績から、概ね達成できていると考えます。												
効率性	市民一人ひとりの心身の状況や健康づくりに対する取組や考え方などに丁寧に対応し支援することを継続していくことにより、市全域の健康意識の向上につながるものと考えます。												
当面の課題	市民の自主的な健康管理意識をさらに高める必要があり、個人・地域・組織のレベルでの取組をすすめることが求められます。												
改 革 画	健康相談・健康教室・訪問指導・自主組織支援等で総合的に健康づくりに取り組みます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	国の健康増進計画に沿い、生活習慣病の発症予防と重症化予防に主眼をおいた取組を展開していますが、目標達成のためには健康診査受診者を増やし、継続的な保健指導や栄養指導を丁寧に行うことが大切です。相談活動や訪問活動、講座や各種教室で事業参加者数は、概ね目標数値に達成しており、市民の健康づくり意識の高まりが窺えます。生活習慣病予防のための若年層へのアプローチや、高齢者のサルコペニア対策にも取り組み始めており、今後の成果が期待されます。また、国保の保健事業同様にデータベースを用いた保健活動に取り組む必要があり、その方策を検討し、科学的で効果的な施策を展開していく必要があります。												